



一週間の現地出張で インドネシアを実感出来る方法

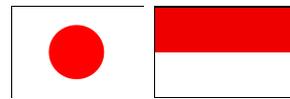


インドネシア進出サポート
小野耕司





自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援分野配属
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/7～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立
インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家

独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

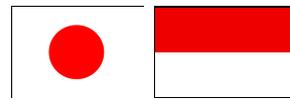
などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社



インドネシアとの
関わりも50
年になりました
た



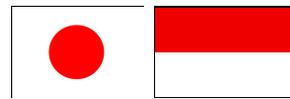
セミナー要旨



- インドネシアで現地法人を設立する、あるいは商品を輸出するなど、現地での事業展開を考える場合は、先ずは会社のトップがインドネシアと言う国を良く知ることが必須です。
- しかし、本社の社長が長期にわたり現地に滞在し、隈なく調査すると言うのは通常は難しい問題です。
- 多くの会社トップは、数日間の既成の視察旅行に参加して、現地の様子を把握しようとしませんが、最大公約数の満足を目的とした内容では、中々期待したように実感出来ない場合が多いようです。
- このセミナーでは、一週間の現地滞在で、インドネシアと言う国の全体像が実感出来るような見学コースを考えてみます。



目次



第1日目 歴史を知る

第2日目 政治を知る

第3日目 宗教を知る

第4日目 生活を知る

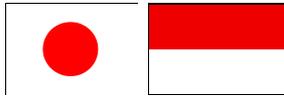
第5日目 経済を知る

第6日目 インフラを知る

第7日目 国民性を知る



第1日目 歴史を知る 1/2



1. 独立記念塔内歴史ジオラマ館

- Diorama Museum Sejarah Nasional
- ジャカルタの中心部に位置する独立記念広場内の、独立記念塔Monasの地下に設置された、インドネシアの歴史ジオラマです。
- 太古の昔から現代までの歴史を、地下階の巨大な空間の壁に配置された、51のジオラマが物語ってくれます。



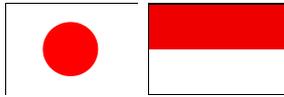
2. ジャカルタ歴史博物館

- Museum Sejarah Jakarta
- 17世紀から20世紀にかけてインドネシアを植民地として支配した、オランダ東インド会社が拠点して築いた、当時はBataviaと呼ばれた、現在は中華街の北端に位置する古都の中心である、Fatahira広場の南側に建てられた洋館です。
- 当時のジャカルタを統治したオランダ人総督の館で、色々な行事を前の広場で催したのでしょうか。
- 周辺には他にも当時の様々な、煉瓦造りの洋館が立ち並んでいます。





第1日目 歴史を知る 2/2



3. 軍事博物館

- Museum Satria Mandala
- スカルノ大統領の第4夫人となったデビ夫人のために、ジャカルタ南部に建てられた屋敷で、現在は軍事博物館として利用されています。
- 玄関を入ると、スカルノ初代大統領による独立宣言文が掲げられており、その肉声を聴くことができます。



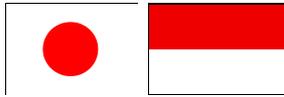
4. カリバタ英雄墓地

- Taman Makam Pahlawan Nasional
- ジャカルタの南端に位置する、独立戦争を始め、国のために命を捧げた兵士達の墓地で、独立戦争に参加して戦士した、残留日本兵の墓もあります。
- 独立の誇りと、国家を守る強い意識を痛感出来る場所でもあります。





第2日目 政治を知る 1/2



1. パンチャシラ館

- Gedung Pancasila
- インドネシア共和国建国五原則Panca Silaを、特に華人系インドネシアに普及させるために、ジャカルタ中心部の独立広場の近くに建てられたものです。
- 建国五原則Panca Silaとは憲法の上位概念です。
 - ① 唯一神への信仰
 - ② 公正で文化的な人道主義
 - ③ インドネシアの統一
 - ④ 合議制と代議制における英知に導かれた民主主義
 - ⑤ 全インドネシア国民に対する社会的公正



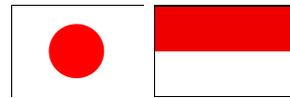
2. 国会議事堂

- Gedung Dewan Perwakilan Rakyat (DPR)
- ジャカルタ南部に立つ国会議事堂は独立後に建てられた、独自のデザインの建物で、その上位機関である国民協議会議事堂MPRと並んで配置されています。
- 見学には事前に事務局へオンラインで申請する必要があります。





第2日目 政治を知る 2/2



3. 大統領官邸(旧)

- Istana Merdeka
- ジャカルタ中心部の独立広場の北側に位置し、独立以来2024年まで大統領官邸(インドネシア語で独立宮殿)として使われて来た建物です。
- 大統領官邸の他に、迎賓館などの建物が集まった、いわゆる大統領府です。
- 身分証明書を提示することで見学が出来ます。



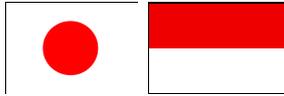
4. 新首都

- Ibu Kota Nusantara (IKN)
- 東カリマンタン州に建設されている新首都は、独立100周年の2045年の完成を目指し、2024年10月からのプラボウォ大統領は、ここを拠点に政治を行うこととなります。
- この時点での都市全体の建設工事進捗率は約20%で、首都機能の移転は進捗を見ながらの展開となりそうです。
- ジャカルタから空路で2時間かかるため、1週間の視察旅行に組み入れるのは難しいでしょう。





第3日目 宗教を知る 1/2



1. イスティクラル礼拝堂

- Masjid Istiqlal
- ジャカルタ中央の独立記念広場の北側に建立された、世界有数のイスラム礼拝堂で、収容人員は30万人と言われています。
- 全人口の90%を占める、世界最大のイスラム教徒を抱えるインドネシアにおける、数多い礼拝堂の最高峰です。
- 大統領の公式な礼拝はここで行われるのが通例です。
- イスラム教徒ではない外国人による見学も、有料の案内人の付き添いで可能となります。



2. カトリック教会

- Gereja Katedral Jakarta
- イスティクラル礼拝堂と向かい合って建立された、カトリック教会です。
- 全人口の3%を占めるカトリック教徒の、インドネシアでの最大のカトリック教会です。



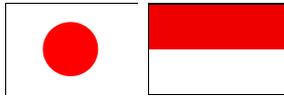
3. プロテスタント教会

- Gereja Immanuel Jakarta
- ジャカルタ中央の独立記念広場の東側に建立された、全人口の7%を占めるプロテスタント教徒の、インドネシア最古のプロテスタント教会です。





第3日目 宗教を知る 2/2



4. ヒンズー寺院

- Pura Aditya Jaya
- ジャカルタ東部の名門ゴルフコースRawamangunの北に存在する、バリ島外では珍しいヒンズー寺院です。
- 全人口の1.7%を占める、ほとんどのヒンズー教徒はバリ島に住んでおり、そのバリ島まで行けばヒンズー教の世界を満喫出来るのですが、1週間の旅程では難しいので、ここで我慢しましょう。



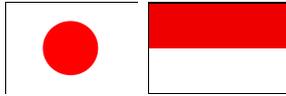
5. 仏教寺院

- Vihara Amurva Bhumi
- ジャカルタ南部に建立された仏教寺院の一つです。
- インドネシアの仏教徒は殆どは華人系インドネシア人で、全人口の0.7%を占めます。





第4日目 生活を知る 1/2



1. 衣類: サリナデパート

- Sarina Jaya Department
- 普段着は日本人と左程変わらない洋服ですが、冠婚葬祭や公式行事では各民族文化の伝統衣装、あるいは男性はバティックを着用します。
- イスラム教徒の女性の多くは、ヘジャブと呼ばれるスカーフで、髪の毛を覆います。
- 男性の正装として下半身に巻くサルンと言う織物もあります。



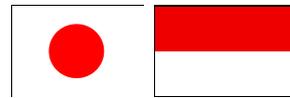
2. 食事: パダンレストラン

- Restoran Padan
- 200を超える種族毎に料理も異なりますが、基本的に主食は米で、殆どの人間がイスラム教徒のため、豚を使った料理はヒンズー教徒の多いバリ島を除いて食されません。
- 数多いインドネシア料理を、短時間で全て試すのは難しいのですが、インドネシアを代表するパダン料理は、その種類の多さで、かなりの部分をカバーしていると言えるでしょう。





第4日目 生活を知る 2/2



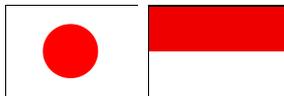
3. 住居:新興住宅地

- Pondok Indah, Pantai Kapuk Indah, Kelapa Gading, Bumi Serpong Damai, Bekasi Barat, etc
- 伝統的な家屋は200を超える種族別に特徴のある構造ですが、現代の家屋は重厚長大を志向するため、屋根は瓦、壁は煉瓦・モルタル、床は大理石が基本です。
- 等級としては戸建住宅・高層住宅共に、高級(5000万円以上)・中級(2000万円~1000万円)・低級(500万円以下)の大きく三つになります。





第5日目 経済を知る 1/2



1. 国内消費：イオンモール

- AEON Mall Bumi Serpong Damai
- ジャカルタの西隣の南タンゲラン市ににある店舗で、急成長を遂げている中間層や富裕層が消費する食材、衣料、家電品などの価格、品揃えを視察します。
- Pasar Senen
- ジャカルタ中心地にある昔からの伝統市場で、一般庶民が消費する食材、衣料、家電品などの価格、品揃えを視察します。



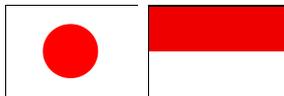
2. 製造業：西ジャワ州工業団地

- Kawasan Industri MM2100, JABABEKA, EJIP, GIIC, KIIC, etc
- ジャカルタ東方30Kmから70Kmの西ジャワ州に展開する、インドネシア最大の広大な工業団地群の工場を外から見学するだけでも、製造業の規模が想像出来ます。
- 特定の工場見学に時間を取るよりも、全体感を俯瞰することをお薦めします。





第5日目 経済を知る 2/2



3. 住宅投資:クラパガディン

- Kelapa Gading
- ジャカルタ北部のKelapa Gading地区に展開される住宅開発は、たくさんある新興住宅街り中でも大規模なものです。
- 高級住宅に限らず、中級住宅、低級住宅はインドネシア全土に広がり、固定資産投資の分野で経済成長を支えています。



4. 対外貿易:タンジュンプリオク港

- Pelabuhan Tanjung Priok
- ジャカルタ北端に位置するタンジュンプリオク港はインドネシア最大の外港で、埠頭にはガントリークレーンが立ち並び、周辺にはコンテナヤードが広がります。
- ジャカルタ市内の3本の環状高速は、この港付近で合流するようになっており、物流面での便宜が図られています。



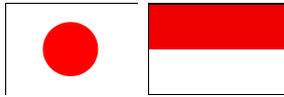
5. 漁業:ジャカルタ漁港

- Pelabuhan Muara Baru
- インドネシアは水産物の漁獲量・生産量が、中国に次いで世界第2位の国です。
- 日本の援助で刷新された、ジャカルタ北端のジャカルタ漁港は3,000隻を超える漁船の母港であり、国内消費ならびに輸出用鮮魚の集積地となっています。





第6日目 インフラを知る 1/2



1. スララヤ火力発電所

- PLTU Suralaya
- ジャワ島の西端Cilegonに建てられたインドネシア国内で2番目に大きい火力発電所で、4,025MWの発電能力を持っています。



2. テレコム通信サービス

- GraPARI Telkomsel
- ジャカルタ市内に何カ所か開設されたTelkomselのサービス店で、インドネシアを代表する携帯電話会社のサービスや機能を尋ねることができます。



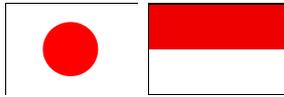
3. 水道局

- PAMJAYA
- ジャカルタ中央に本部を持つ国営水道局で、インドネシア国内での上水道の水質や供給能力について知ることができます。
- 但し、水道の蛇口からの水を直接飲むことは危険です。





第7日目 国民性を知る 1/2



1. インドネシア国立博物館

- Museum Nasional Indonesia
- ジャカルタ中心部の独立広場の西側に建立された総合博物館で、インドネシア人に関する多くの事実を知ることができます。



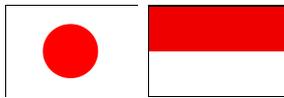
2. インドネシアミニチュア公園

- Taman Mini Indonesia Indah
- ジャカルタ南部に開設された広大な公園で、インドネシア各地の代表的な種族の、実物大の家屋や衣装などが展示されています。
- 多くのインドネシア人の家族連れや、学校の遠足の生徒達で賑わっており、生の多くのインドネシア人に接する機会でもあります。





第7日目 国民性を知る 2/2



3. インドネシア大学

- Universitas Indonesia
- ジャカルタの南に広がるインドネシア大学のキャンパスは、広い森に囲まれた環境の中に佇んでいます。
- インドネシアの最高学府のキャンパスの中で、将来のインドネシアを担う若者達と接することができます。



4. 機械工具市場

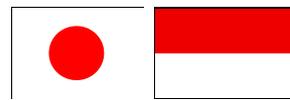
- Lindeteves Trade Center
- ジャカルタ北部の中華街の北端にある、古くからの機械、工具、電気製品の専門店が多く入居している市場です。
- インドネシア人の商売に対する感覚を肌で感じることができます。



5. 屋台

- Warung
- 衛生上、あまりお勧め出来ませんが、裏通りを占拠して営業している屋台は、庶民の貴重な食事の場です。
- 冷やかしだけでも歓迎されます。





インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイトです
(Googleトップランキング)

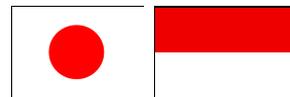
インドネシア最新情報ブログ

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介しています

インドネシア進出サポートウェブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

**愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、
全てのコンテンツは無料で公開されています**



ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です